

## 【競技会での感染防止対策】

### (1) 参加申込時の留意事項

主催者は参加者が遵守すべき事項を明確にし、協力を求める。これを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、競技会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得る。

#### <参加者が遵守すべき事項>

- ①参加者は以下の事項に該当する場合、自主的に参加を見合わせる。
  - ア 体調がよくない場合。(発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
  - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。
  - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触があった場合。
- ②マスクを持参する。(競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する)
- ③こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒、洗顔を実施する。
- ④他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保する。
- ⑤競技会中に大きな声で会話や応援等をしない。集団での応援は禁止。
- ⑥感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑦競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症が疑われる場合は、最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告し、必ず主催者に速やかに報告する。

#### <感染者、濃厚接触者、感染疑いのある者の競技会参加の可否について>

競技会参加者(競技者、チーム関係者、競技役員、メディアなど)に感染者が出た場合、参加は不可とし、感染者との濃厚接触者、感染疑いのある者の競技会参加の可否は原則として行政、学校や企業の対応を優先する。

##### ①感染者への対応

大会開催日3週間前の時点、もしくはそれ以降にPCR検査もしくは抗原検査で陽性反応があった場合、当該選手、チームは参加を辞退する。または、主催者による出場権利の取り消しを行う。

##### ②濃厚接触者への対応

保健所から濃厚接触者と認められた場合、14日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない選手の出場を認める。

「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」厚生労働省(2020.5.25)

##### ③感染疑いの者への対応

大会開催日3週間前の時点、もしくはそれ以降に感染疑い症状が発症していた場合、インフルエンザ等の新型コロナウイルス以外の感染症のリスクもあるため、原則当該競技者は参加を辞退する。または、主催者による出場権利の取り消しを行う。

但し、次の1) 2)の両方の条件を満たしている場合、大会への出場を認める。

- 1) 感染疑い症状の発症後に少なくとも8日が経過している。

- 2) 薬剤を服用していない状態で、解熱後および症状消失後に少なくとも3日が経過している。(解熱後および症状消失日を0として3日間)

※感染疑い症状とは

- ▼息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ▼重症化しやすい方(高齢者、糖尿病・心不全・呼吸器疾患 COPD 等)等の基礎疾患がある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ▼上記以外の方で「発熱や咳など比較的軽い風邪の症状」が続く場合  
(症状が4日以上続く場合は必ず、「強い症状」と思う場合にはすぐに相談を。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様)

## (2) 体調の確認

競技会に参加する全ての人(競技者、チーム関係者、競技役員、メディアなど)は、体調管理チェックシートに記入し来場日ごとに、主催者に提出する。学校(チーム)の場合は代表者が取りまとめて来場日ごとに、主催者に提出する。

大会前14日間のチェックシートと、大会当日のチェックシートそれぞれの様式を提出する。

※「体調管理チェックシート」は栃木陸協 Web サイトからダウンロードする。

<体調管理チェック表に記載する事項>

- ①氏名、年齢、電話番号、保護者氏名(中高生)
- ②競技会前1週間における以下の事項の有無
  - ア のどの痛みがある
  - イ 咳(せき)
  - ウ 痰(たん)
  - エ 鼻水、鼻づまり ※アレルギーを除く
  - オ 頭痛
  - カ 体のだるさなど
  - キ 発熱の症状
  - ク 息苦しさ
  - ケ 嗅覚異常(味がしない)
  - コ 臭覚異常(匂いがしない)
  - サ 体温

## (3) 参加受付時の留意点

競技会当日の受付時に参加者が密になることの防止や安全に競技会を開催・実施するため、以下に配慮して受付を行う。

- ①受付窓口等で手指の消毒を行う。
- ②発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しない。
- ③受付時に参加者相互が密にならないよう、距離を空けて並ぶ。
- ④受付終了後は速やかに受付場所から退場する。

(4) 競技会場使用に関する注意事項

- 1) 競技場の各出入口で手指の消毒を必ず実施する。(競技会場・練習会場・観客席)
- 2) 競技場内には医師／看護師／保健師のいずれかが医務室に常駐する。  
参加者の中で発熱者が出た場合、主催者は当該参加者を隔離室に誘導する。
- 3) 更衣室、休憩、待機スペースは感染リスクが比較的高いと考えられることに留意する。  
そのため以下の事項に配慮する。
  - ①待機場所はゆとりを持って使用し、他の参加者と密になることを避ける。
  - ②メイン競技場の更衣室は使用できない。更衣については、2階観客席にあるWC内の更衣スペースを利用する。またシャワールームの使用はできない。
  - ③第2競技場メインスタンド内の更衣室は利用可とする。ただしシャワーの使用はできない。
- 4) トイレを使用した場合、便座の蓋を閉めて汚物を流す。
- 5) 手洗いは、30秒以上行う。手洗い後、手をふくために個人でタオルを準備する。
- 6) 観客席における声を出しての応援、集団での応援は禁止、また、タイム読みも禁止とする。  
手拍子での応援は可。応援者同士の距離を2mほど開ける。
- 7) 各チームが出したごみは持ち帰る。また、以下に配慮して処理する。
  - ①ゴミ箱は設置しない。
  - ②鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れ密閉する。

(5) 参加者が競技を行う際の留意点

- ①ウォーミングアップは競技者のみで行う。(付き添いは付けない)
- ②雨天練習場の使用は三密を避け、係員の指示に従い使用する。
- ③招集所では他の選手とは距離をとり、招集を受ける。
- ④競技中に唾や痰を吐く行為は行わない。
- ⑤タオルの共用はしない。
- ⑥控所では、周囲の人となるべく距離をとり、大声で会話しない。
- ⑦跳躍競技でマットや砂場に着地した後、不用意に手で顔を触らないように注意する。
- ⑧棒高跳および投てき競技での滑り止め(炭酸マグネシウム)の利用については、共用しないこととする。滑り止めは原則として参加者各自が持参する。
- ⑨投てき競技では試技が終了するごとに、手指の消毒を行う。投てき用具を共用した場合、競技終了後の手洗い・洗顔を徹底する。また、競技中に不用意に手で顔を触らないように注意する。
- ⑩助走練習、投てき練習時に並ぶ際も、他の選手と距離をとる。

(6) 表彰について

- ①各種目の入賞者(8位までの選手)に対する表彰式は実施しない。1～3位までの入賞者は、競技終了後、誘導に従ってメインスタンド表彰待機所に移動し、表彰状とメダルを受け取る。
- ②各種目4～8位までの入賞者の表彰状はTICで配布する。
- ③関東陸上競技協会の表彰式についても実施しない。

(7) 参加チーム（学校）の監督・顧問へ依頼すること

- ①参加選手の体調の把握。少しでも体調の悪い選手は競技会への出場を辞退させる。
- ②選手控所で休憩する場合は、十分な距離をとるよう指導する。また、大声で会話等することのないよう指導する。併せてマスクの着用を徹底させる。
- ③競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染が確認された場合、主催者に報告。

(8) 審判員が心がけること

- ①競技者が密にならないよう指導する。
- ②使用した用器具の消毒を行い、衛生を保つ。
- ③競技参加者の注意事項等を遵守させる。
- ④競技役員はマスクを着用し業務にあたる。併せて水分補給をこまめに行い、熱中症に注意する。

(9) 取材について

- ①大会本部に取材の事前申請を必ず行う。来場の際、受付で体調管理チェックシートを提出する。栃木陸協 Web サイトより体調管理チェックシート（大会前、大会後）をダウンロードする。
- ②取材は原則、1社1名とする。テレビ等の場合は原則、取材1名、撮影1名とする。
- ③取材エリアについては、競技・審判に支障がなく安全なエリアで行う。審判の指示に従う。
- ④会場内では、ソーシャルディスタンスを確保し、3密を避ける。
- ⑤取材中は、必ずマスクを着用すること。またビブスを必ず着用し、取材関係者であることを明示する。
- ⑥選手・監督への取材は行わない。取材の必要がある場合は、ソーシャルディスタンスを確保し、取材を行う。
- ⑦会場内では手洗い、咳エチケットなどを心がける。

(10) 大会主催者の免責事項

大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

(11) 個人情報の取り扱い

チェックシートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、来場可否の判断及び必要な連絡のみに利用し、個人情報保護法の法令において認められた場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供しない。ただし、大会会場にて感染症患者又はその疑いのある者が発見された場合、必要な範囲で保健所等に提供することがある。

(12) 個人情報の保管期間

- ①取得した個人情報は大会終了後少なくとも1ヶ月以上保管する。
- ②保管期間を過ぎた当該情報は、適正かつ速やかに破棄する。

## 【感染者、濃厚接触者、感染疑い者が発生した場合の手順】

有症者の発生

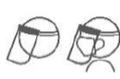
最寄りの審判員・競技役員・指導者に連絡

総務員・医務員に連絡

以降、防護具を装着した者が主に対応

体調不良等を訴える者は、すべて新型コロナウイルスの感染者、濃厚接触者、感染の疑いのある者として対応する。直接の接触を極力避けるため、競技中や、フィニッシュ後に倒れこんだ競技者のケアについても、防護体制を整えたスタッフが対応する。

防護具：★マスク ★手袋 ☆フェイスシールド ☆ガウン ☆ゴーグル（サングラス）等



★印は使い捨て、☆はそのたびに消毒



①有症者を別室に隔離（医務室、会議室、託児室等）

隔離室への訪問者は最低限にとどめる。

②有症者本人の関係者（所属チーム・保護者等）へ連絡

③体調管理チェックシートの確認

④有症者の検温、問診

できるだけ早急に帰宅を促す。帰宅準備が整うまで隔離室待機

有症者が帰宅後、隔離室の換気や物品の消毒を実施。